

ポロベツ川

様々な水生生物を観察することができる地点です

地点/ ポロベツ川緑地(厚別区厚別東4条9丁目)

川幅/ 1m 水深/ 30~50cm

生物種/ オニヤンマ(幼虫)、マツモムシ、ツチガエル等

総合評価/ ★★★(適している)



右岸はなだらかで障害物がなく、開けているため、環境活動の場として利用できます。



水深は浅く、河床を網ですくえば、隠れている水生生物を捕まえることができます。



生息している水生生物

オニヤンマ(幼虫)



ツチガエル



ポロベツ川は川幅が狭く、水深の浅い川です。普段は水の流れはなく、水が溜まっている場所に水生生物が生息しています。

オニヤンマ(幼虫)、マツモムシ、ツチガエル等の水生生物の観察場所として利用できます。

マツモムシ



種和名	生息場所	外来種
カワコナ	河床を這って移動する	北海道版ブルーリスト2010
オオエゾコエビ	河床に沈む落ち葉や、水中の植物に隠れて生息する	
ミズムシ*	河床に沈む落ち葉や、石の下、水中の植物に隠れて生息する	
オニヤンマ(幼虫)	幼虫の時期は、河床の砂や泥の中に生息する	
マツモムシ	水中の植物の周りや水面を泳ぐ	
ガガンボ属の一種	川底の砂や泥の中に生息する	
ヒメゲンゴロウ	河床に沈む落ち葉や、水中の植物の周りを泳ぐ	
ツチガエル	川の中や、周辺の草むらに生息する	本道に定着しており、生態系への影響が考えられる

※: ミズムシは、昆虫類と甲殻類の種類があります。ポロベツ川では甲殻類のミズムシを確認しました。



河床には石がごろごろしているよ。躓かないようにしましょう!

環境教育の場としての評価

広さ	安全性	水辺環境	魚種数	魚類個体数	総合
★★★	★★★★	★★★	★	評価なし	★★★
整備されており、活動しやすい	水深は浅く、比較的安全	住宅地を流れる河川であり、岸部にゴミがある	0種類		適している

評価理由

増水時以外は水の流れがない河川です。増水時は水溜まりができています。魚類はみられなかったものの様々な水生生物が生息しており、環境教育の場として利用することができます。